

2013年6月24日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市菅野2-14-14-206  
Tel/fax 047-323-3640  
携帯 090-6310-3294  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログが新しくなりました  
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

# 清水みな子

あおぞらメール No.65



## 6月定例市議会一般質問

# 公民館などの料金見直し



住民が利用する公民館（写真は西部公民館）

6月7日から始まった6月定例市議会は24日で終了しました。一般質問では、保育園のアレルギー児童の対応について、市政戦略会議に諮問した使用料・手数料の見直しについて、質問しました。

5月15日「市政戦略会議」に市長は「使用料・手数料の見直し」等諮問しました。

今回、見直しの対象となるのは、市民生活に直結することばかりです。公民館、文化会館、談話室、勤福センター、地域ふれあい館、市民プール、体育館、運動場などの使用料、住民税など発行手数料の見直し、事実上の値上げです。

とくに公民館会議室の

ともいいました。来年度以降100億円の財源不足だと財政部では試算しています。だからといって、市民負担に先に手をつけることは許されません。もっと見直しできる事業があるはずだと、追及しました。

しかし、市長は「会議室は安すぎる。せめて商工会議所並みに」と議場で答弁しました。値上げ反対の声を大きくあげていきたいと思います。

### 保育園アレルギー児童への対応は…

アレルギーのお子さんを抱えるお母さんから相談があり「公立保育園ではこれまで行ってきたアレルギー用の給食をつくってくれないのか、くれないのか。はっきりわからない」といって泣いていました。

そこで、アレルギー児童への対応について聞きました。

市内21の公立保育園に124名のアレルギー児童がいる。昨年度からアレルギー食対応のために、1園に1人の栄養士を配

置する方針で対応しているということでした。（現在は18名の栄養士、正規職員が3園を兼務）今後もアレルギー食は対応していくことを確認しました。今年3月に作成した「アレルギー対応マニュアル」を認可外保育園にも徹底するように求めました。

相談のあったお母さんからは「質問ネット中継で聞きました。とっても良かったです。最後にアレルギー児の排除につながることはないように、と言ってもらえて嬉しかったです」という嬉しいメールが届きました。

☆ブログをリニューアルしました

「日本共産党市川市議団」で「検索」  
「清水みな子」の顔写真をクリック  
または <http://jcp-shimizu.sblo.jp>

☆ご意見・ご要望をお寄せください

# 首都国道事務所が外環の環境影響予測の説明会

5月29日夜、首都国道事務所が主催し、外環道環境影響予測の説明会が開かれました。会場の文化会館小ホールには30人足らず。市や県、国交省の職員以外に何人の市民が参加されたのでしょうか。

文字も小さく見えないスライド説明が終わり、外環連絡会の高柳さんが質問しました。「この説明会は誰を対象に開いたのか」「特殊部分だけをなぜ選んだのか」「模型実験はやらないのか」「北千葉ジャンクションはなぜ対象としないのか」「最高裁判決のある騒音についてどう解釈しているのか」との質問に十分な答えは返ってきませんでした。

気になるのは騒音でした。最高裁で昼が65デシベル、夜が60デシベルが近隣の住民の許容範囲だという判例はあるが、今回の予測は昼が70デシベル、夜が65デシベル。菅野地区では地上1.2mの高さで測ったら、昼は67デシベル、夜は64デシベルと国道14号と変わらぬ値です。閑静な住宅地に、外環道路が開通すると、住民は騒音や排気ガスなどに悩まされるのではと納得できない思いでした。

# 都議選 大躍進！

## 参議院選挙でのご支援を

6月23日投開票でたたかわれた東京都議会議員選挙では、日本共産党は8議席から17議席（うち女性は11名）へと大躍進し、第3党になりました。目標であった議案提出権の持つ11議席から議席の倍増ですから、ほんとうに嬉しかったです。その夜から、支持者の皆さんから、「おめでとう」「良かったですね」「頑張りましたね」という嬉しい電話やメールが次々と入りました。皆さん、ご支援ありがとうございました。ひきつづき、参議院選挙（7月21日投票）でのご支援をお願いします。



5月26日、清水ブロック

地域で議会報告会  
「また開いてほしい」

（真間川地域）後援会の議会報告会を開きました。参加者は少なかったのですが、「特養ホーム・保育園の待機者問題」「介護保険制度と施設の問題」「ガーデニングシティについて」など、質問や意見が活発に出されました。少人数だったから、気軽になんでも聞けると好評でした。初めて参加された方は「ぜひ市政について知りたいと思って参加した。こういう集まりをぜひ開いてほしい」と要望も出されました。

### ジュンサイを残そう 市民の会が「写真展」

5月26日から5日間、アリンクタウン展望台で「生物などの写真展」が開かれました。



### 《主な活動報告 6月》

#### ☆6月1日 「井上ひさし展」を見学

市川でよい芝居をみる会の仲間と横浜にある神奈川近代文学館で開催されている「井上ひさし展」を見学に行きました。当日開かれた朗読会で井上さんのエッセイや思い出など紹介されました。



#### ☆6月5日 「こどもの城」存続へ院内勉強会

参議院会館で、こどもの城、青山劇場、青山円形劇場の存続と児童館行政を考える院内勉強会がひらかれました。昨年9月に厚労省から突然の廃館を示され、有志が存続される会を発足させ署名活動を行い4万筆を超え、10万筆をめざしての勉強会でした。

こどもの城は国立の大型児童館で施設も充実していて、全国のセンターの役割も担っています。また、児童館の補助金がカットされて、子どもたちのための施設をなくそうとしていると怒りの声があがりました。厚労省の担当者との懇談もノラリクラリとまったく参加者を納得させるものではありませんでした。

#### ☆6月13日 千葉県保育・学童保育後援会

参議院選挙勝利に向けて、学習会とつどいを開きました。寺尾さとし千葉選挙区候補があいさつ。丸山県議が「参院選をめぐる情勢と日本共産党の国民的役割」と題して、資料もたっぷりに話を聞きました。各地からの報告では、市川から「待機者が多い中で増設を求めて市と懇談。保活チラシを配布し、待機している保護者との結びつきを強めたいと活動中です」との報告も。勝利へ向けた活動の申し合わせがありました。